

【表紙】	
【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年12月22日
【発行者名】	岡三アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉野 俊之
【本店の所在の場所】	東京都中央区八重洲二丁目8番1号
【事務連絡者氏名】	田中 利幸
【電話番号】	03-3516-1432
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係る ファンドの名称】	農業・食糧関連オープン
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金 額】	当初申込期間（平成23年3月16日から平成23年3 月30日まで） 500億円を上限とします。 継続申込期間（平成23年3月31日から平成24年5 月31日まで） 5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出しましたので、平成23年2月28日付をもって提出した有価証券届出書（平成23年3月8日、平成23年4月11日、および平成23年7月11日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み。以下、「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、またその他の情報について訂正すべき事項がありますので、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

下線部_____は訂正部分を示します。

第一部【証券情報】

(5)【申込手数料】

[訂正前]

当初申込期間

申込金額（1口当たり1円に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にてご確認下さい。

継続申込期間

申込金額（取得申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にてご確認下さい。

（ 略 ）

[訂正後]

当初申込期間

申込金額（1口当たり1円に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料率は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。

継続申込期間

申込金額（取得申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料率は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。

（ 略 ）

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(2)【ファンドの沿革】

[訂正前]

平成23年3月31日 投資信託契約締結、設定、運用開始（予定）

[訂正後]

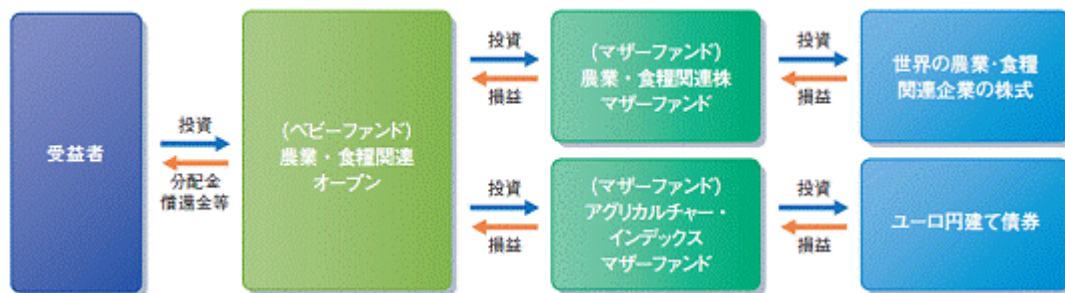
平成23年3月31日 投資信託契約締結、設定、運用開始

(3)【ファンドの仕組み】

[訂正前]

ファミリーファンド方式

(略)



ファンドの関係法人とその役割

(略)

関係法人	役割
(略)	
受託会社	住友信託銀行株式会社 投資信託契約に基づき、投資信託財産の保管・管理・計算、委託会社の指図に基づく投資信託財産の処分等を行います
(略)	

委託会社の概況（平成22年12月末日現在）

(略)

[訂正後]

ファミリーファンド方式

(略)



ファンドの関係法人とその役割

(略)

関係法人	役割
(略)	
受託会社	住友信託銀行株式会社 投資信託契約に基づき、投資信託財産の保管・管理・計算、委託会社の指図に基づく投資信託財産の処分等を行います。 関係当局の認可等を前提に、平成24年4月1日付で中央三井信託銀行株式会社および中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、三井住友信託銀行株式会社となる予定です。
(略)	

委託会社の概況（平成23年10月末日現在）

(略)

2【投資方針】

(3)【運用体制】

[訂正前]

運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織

(略)

会議名または部署名	役割
(略)	
コンプライアンス部 (3名程度)	運用業務にかかわる関係法令及び社内諸規則等の遵守状況の検証並びに検証に基づく運用本部への指導を行います。
(略)	

(略)

ファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

「受託会社」または「再信託受託会社」に対しては、日々の基準価額および純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っております。

運用体制等につきましては、平成22年12月末日現在のものであり、変更になることがあります。

[訂正後]

運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織

(略)

会議名または部署名	役割
(略)	
コンプライアンス部 (5名程度)	運用業務にかかわる関係法令及び社内諸規則等の遵守状況の検証並びに検証に基づく運用本部への指導を行います。
(略)	

(略)

ファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

「受託会社」または「再信託受託会社」に対しては、日々の基準価額および純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っております。

委託会社では、リスク管理規程において、運用に関するリスク管理方針を定め、運用本部及び運用本部から独立した部署が、運用の指図について運用の基本方針や法令諸規則等に照らして適切かどうかのモニタリング・検証を通じて、運用リスクの管理を行っております。

運用体制等につきましては、平成23年10月末日現在のものであり、変更になることがあります。

(4) 【分配方針】

[訂正前]

(略)

分配金再投資コースの場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資いたします。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）にお支払いします。また、分配金再投資コースの場合、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

[訂正後]

(略)

分配金再投資コースの場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資いたします。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）にお支払いします。また、分配金再投資コースの場合、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

分配方針に基づいて収益分配を行う予定ですが、分配金の支払いを保証するものではありません。

3 【投資リスク】

[訂正前]

当ファンドは、主に世界の農業・食糧に関連する企業の株式およびダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を実質的な投資対象としますので、組入れた世界の農業・食糧に関連する企業の株式およびダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスの下落、株式やユーロ円建て債券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

投資リスク

(略)

信用リスク

有価証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化、および有価証券の発行会社の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

債券や短期金融商品を投資対象としますので、元利支払いの不履行もしくは遅延の影響で、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

カントリーリスク

外国の外貨不足などの経済的要因、外国政府の資産凍結などの政治的理由、外国の社会情勢の混乱等の影響で、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

特に、新興国は、主要先進国と比較して、経済・政治・社会情勢等で脆弱または不安定な側面があることから、新興国のカントリーリスクは主要先進国に比べ高くなる傾向にあります。

(略)

留意事項

(略)

- ・ 分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。運用実績に応じて分配対象収益は変動するため、収益分配金が減少する可能性や、収益分配を行わない可能性があります。

(略)

[訂正後]

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、世界の農業・食糧に関連する企業の株式、ユーロ円建て債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資リスク

(略)

信用リスク

有価証券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

債券や短期金融商品を投資対象としますので、元利支払いの不履行もしくは遅延の影響で、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

カントリーリスク

投資対象国・地域等における外貨不足等の経済的要因、政府の資産凍結等の政治的理由、社会情勢の混乱等の影響で、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります

特に、新興国は、主要先進国と比較して、経済・政治・社会情勢等で脆弱または不安定な側面があることから、新興国のカントリーリスクは主要先進国に比べ高くなる傾向にあります。

(略)

基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

(略)

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

(略)

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

[訂正前]

当初申込期間

申込金額（1口当たり1円に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

継続申込期間

申込金額（取得申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

(略)

[訂正後]

当初申込期間

申込金額（1口当たり1円に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料率は変更と

なる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

継続申込期間

申込金額（取得申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に、販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額

有価証券届出書提出日現在の手数料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）です。手数料率は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

（略）

（5）【課税上の取扱い】

[訂正前]

（略）

個人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、平成23年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）、平成24年1月1日以降は20%（所得税15%、地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。

確定申告は不要ですが、確定申告による総合課税または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。

償還価額および解約価額から取得費（申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益は譲渡所得となり、平成23年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）、平成24年1月1日以降は20%（所得税15%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）をご利用の場合には、原則として確定申告は不要です。

法人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに償還時及び解約時の個別元本超過額については、平成23年12月31日までは7%（所得税7%）、平成24年1月1日以降は15%（所得税15%）の税率による源泉徴収が行われます。なお、地方税の源泉徴収はありません。また、源泉徴収された所得税は、法人税から控除できます。

（略）

上記の内容は平成22年12月末日現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合には変更になることがあります。

[訂正後]

（略）

個人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、平成25年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）、平成26年1月1日以降は20%（所得税15%、地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。

確定申告は不要ですが、確定申告による総合課税または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。

償還価額および解約価額から取得費（申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益は譲渡所得となり、平成25年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）、平成26年1月1日以降は20%（所得税15%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）をご利用の場合には、原則として確定申告は不要です。

法人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに償還時及び解約時の個別元本超過額については、平成25年12月31日までは7%（所得税7%）、平成26年1月1日以降は15%（所得税15%）の税率による源泉徴収が行われます。なお、地方税の源泉徴収はありません。また、源泉徴収された所得税は、法人税から控除できます。

（略）

上記の内容は平成23年10月末日現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合には変更になることがあります。

5【運用状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

平成23年10月31日現在の運用状況は、以下のとおりです。

投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（1）【投資状況】

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	1,544,926,254	94.29
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		93,488,286	5.71
合計（純資産総額）		1,638,414,540	100.00

<参考> 農業・食糧関連株マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（%）
-------	------	---------	---------

株式	日本	22,226,000	2.56
	アメリカ	300,473,736	34.55
	カナダ	90,148,627	10.36
	ドイツ	20,870,571	2.40
	フランス	39,748,371	4.57
	イギリス	17,214,724	1.98
	スイス	108,944,291	12.53
	バミューダ	33,890,447	3.90
	シンガポール	12,395,516	1.43
	ノルウェー	40,263,090	4.63
	タイ	18,975,000	2.18
	メキシコ	8,036,392	0.92
	韓国	33,723,900	3.88
	台湾	20,370,952	2.34
	モーリシャス	16,572,348	1.91
小計	783,853,965	90.12	
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		85,942,897	9.88
合計（純資産総額）		869,796,862	100.00

<参考> アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
社債券	イギリス	2,024,317,800	93.33
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		144,740,430	6.67
合計（純資産総額）		2,169,058,230	100.00

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

組入銘柄は、上位30銘柄もしくは全銘柄を記載しています。

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 （円）	帳簿価額 金額 （円）	評価額 単価 （円）	評価額 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	親投資信託受益証券	農業・食糧関連株マザーファンド	999,535,229	0.9975	997,036,391	0.8702	869,795,556	53.09
日本	親投資信託受益証券	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	1,046,065,539	0.8157	853,275,661	0.6454	675,130,698	41.21

(種類別投資比率)

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	94.29
合計	94.29

< 参考 > 農業・食糧関連株マザーファンド

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	山崎製パン	食料品	10,000	1,020.33	10,203,382	1,042.00	10,420,000	1.20
日本	株式	東洋水産	食料品	5,000	1,825.76	9,128,800	2,008.00	10,040,000	1.15
アメリカ	株式	CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	素材	4,700	11,375.90	53,466,731	13,228.38	62,173,409	7.15
アメリカ	株式	GENERAL MILLS INC	食品・飲料・タバコ	14,500	2,895.81	41,989,377	3,042.35	44,114,183	5.07
アメリカ	株式	DEERE & COMPANY	資本財	6,100	7,313.94	44,615,049	6,116.59	37,311,214	4.29
アメリカ	株式	KELLOGG CO	食品・飲料・タバコ	8,400	4,202.77	35,303,320	4,259.14	35,776,818	4.11
アメリカ	株式	AGCO CORP	資本財	10,000	4,109.08	41,090,875	3,516.63	35,166,325	4.04
アメリカ	株式	THE HERSHEY COMPANY	食品・飲料・タバコ	4,600	4,415.42	20,310,943	4,466.73	20,546,992	2.36
アメリカ	株式	MONSANTO CO	素材	3,400	5,458.82	18,560,013	5,942.43	20,204,270	2.32
アメリカ	株式	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	食品・飲料・タバコ	6,000	2,725.13	16,350,825	2,358.93	14,153,610	1.63
アメリカ	株式	HJ HEINZ COMPANY	食品・飲料・タバコ	3,000	4,248.26	12,744,780	4,193.83	12,581,505	1.45
アメリカ	株式	TYSON FOODS INC-CL A	食品・飲料・タバコ	8,000	1,489.69	11,917,520	1,522.34	12,178,760	1.40
カナダ	株式	VITERRA INC	食品・飲料・タバコ	44,200	879.97	38,894,895	819.74	36,232,755	4.17
カナダ	株式	POTASH CORPORATION OF SASKATCHEWAN INC	素材	9,000	4,172.26	37,550,418	3,889.88	35,008,925	4.02
カナダ	株式	AGRIUM INC	素材	2,900	7,084.38	20,544,717	6,519.63	18,906,947	2.17
メキシコ	株式	GRUPO BIMBO SAB DE CV-SERIES A	食品・飲料・タバコ	49,400	155.43	7,678,354	162.68	8,036,392	0.92
モーリシャス	株式	GOLDEN AGRI-RESOURCES LTD	食品・飲料・タバコ	390,000	43.74	17,059,770	42.49	16,572,348	1.91
ドイツ	株式	SUEDZUCKER AG	食品・飲料・タバコ	4,400	2,374.12	10,446,147	2,401.00	10,564,414	1.21
ドイツ	株式	K+S AG	素材	2,000	5,951.76	11,903,535	5,153.07	10,306,157	1.18
フランス	株式	DANONE SA	食品・飲料・タバコ	7,200	5,123.81	36,891,437	5,520.60	39,748,371	4.57
イギリス	株式	UNILEVER PLC	食品・飲料・タバコ	6,500	2,549.44	16,571,412	2,648.41	17,214,724	1.98
スイス	株式	SYNGENTA AG-REG	素材	1,700	26,744.83	45,466,216	24,718.26	42,021,042	4.83
スイス	株式	ARYZTA AG	食品・飲料・タバコ	10,000	3,732.77	37,327,716	3,782.39	37,823,975	4.35
スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	6,300	4,843.80	30,515,987	4,618.93	29,099,274	3.35
ノルウェー	株式	YARA INTERNATIONAL ASA	素材	10,400	3,882.59	40,378,948	3,871.45	40,263,090	4.63
バミューダ	株式	BUNGE LIMITED	食品・飲料・タバコ	7,000	5,527.24	38,690,732	4,841.49	33,890,447	3.90
シンガポール	株式	OLAM INTERNATIONAL LIMITED	食品・生活必需品小売り	76,000	176.22	13,392,856	163.09	12,395,516	1.43
タイ	株式	CHAROEN POKPHAND FOODS PUBLIC CO-NVDR	食品・飲料・タバコ	250,000	75.54	18,886,450	75.90	18,975,000	2.18
韓国	株式	CJ CHEILJEDANG CORP	食品・飲料・タバコ	1,500	19,914.66	29,871,994	22,482.60	33,723,900	3.88
台湾	株式	UNI-PRESIDENT ENTERPRISES CORP	食品・飲料・タバコ	190,800	96.54	18,420,282	106.76	20,370,952	2.34

(種類別及び業種別投資比率)

種類	国内/外国	業種	投資比率（％）
株式	国内	食料品	2.56
	外国	素材	26.59
		資本財	8.33
		食品・生活必需品小売り	1.43
		食品・飲料・タバコ	51.21
合計			90.12

<参考> アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還 期限	投資 比率 (%)
イギリス	社債券	BARCLAYS - AGRICUL TURE 201 11130	1,020,000,000	98.45	1,004,210,400	95.61	975,262,800	0	2011年11月30 日	44.96
イギリス	社債券	UBS - AGRI CULTURE 20121130	350,000,000	102.88	360,080,000	102.74	359,590,000	0	2012年11月30 日	16.58
イギリス	社債券	SG - AGRIC ULTURE 2 0121130	350,000,000	102.39	358,365,000	101.69	355,915,000	0	2012年11月30 日	16.41
イギリス	社債券	UBS - AGRI CULTURE 20111130	350,000,000	98.28	343,980,000	95.30	333,550,000	3.5	2011年11月30 日	15.38

社債券の組入銘柄は、ダウジョーンズUBSアグリカルチャー（農作物）サブ・インデックスの円換算後の騰落率に概ね価格が連動するユーロ建て債券です。

（種類別投資比率）

種類	投資比率（％）
社債券	93.33
合計	93.33

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

<参考> 農業・食糧関連株マザーファンド

資産の種類		数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引 売建	ドル	132,703.26	10,049,750	10,316,351	1.19
	ウォン	391,384,864.00	26,919,450	27,670,909	3.18

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額	基準価額 (1口当たり)
	円	円
平成23年 3 月末日	3,544,194,152	1.0000
平成23年 4 月末日	4,390,249,273	0.9860
平成23年 5 月末日	4,419,843,247	0.9675
平成23年 6 月末日	4,330,891,793	0.9392
平成23年 7 月末日	4,233,302,967	0.9216
平成23年 8 月末日	4,235,218,220	0.9280
平成23年 9 月末日	2,653,934,052	0.8055
平成23年10月末日	1,638,414,540	0.8337

【分配の推移】

期間		分配金 (1口当たり)
第1期中間計算期間	(自平成23年3月31日至平成23年9月30日)	-円

【収益率の推移】

期間		収益率(%)
第1期中間計算期間	(自平成23年3月31日至平成23年9月30日)	19.5

(注) 収益率は期間騰落率です。小数点以下第2位を四捨五入しております。

(4) 【設定及び解約の実績】

期間	設定数量 (単位：口)	解約数量 (単位：口)
第1期中間計算期間	4,674,500,000	1,379,630,000

(注) 第1期中間計算期間の設定数量は、当初募集口数です。

(参考情報)

運用実績

基準価額・純資産の推移(2011年3月31日～2011年10月31日)



※基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※分配金再投資基準価額は、決算時の分配金を未課税で再投資したものと計算しております。
 ※設定時から10年以上経過した場合は、直近10年分を記載しています。

2011年10月31日現在
分配金の推移

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0円

※上記分配金は1万口あたり、税引前です。

主な資産の状況

組入ファンド

ファンド名	純資産比率
農業・食糧関連株マザーファンド	53.09%
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	41.21%

株式組入上位銘柄
(農業・食糧関連株
マザーファンド)

銘柄名	国/地域	業種	純資産比率
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	アメリカ	素材	7.15%
GENERAL MILLS INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	5.07%
SYNGENTA AG-REG	スイス	素材	4.83%
YARA INTERNATIONAL ASA	ノルウェー	素材	4.63%
DANONE SA	フランス	食品・飲料・タバコ	4.57%

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

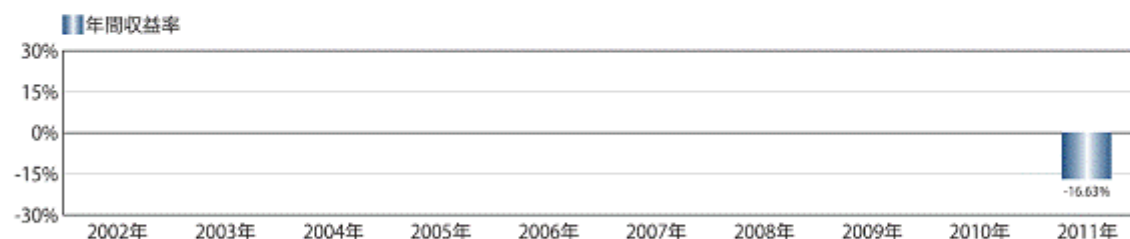
債券組入上位銘柄
(アグリカルチャー・
インデックスマザー
ファンド)

銘柄名	資産種類	償還日	純資産比率
BARCLAYS-AGRICULTURE 20111130	社債券	2011/11/30	44.96%
UBS-AGRICULTURE 20121130	社債券	2012/11/30	16.58%
SG-AGRICULTURE 20121130	社債券	2012/11/30	16.41%
UBS-AGRICULTURE 20111130	社債券	2011/11/30	15.38%
-	-	-	-

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※組入銘柄は、上位5銘柄もしくは全銘柄を記載しています。

年間収益率の推移



※ファンドにはベンチマークはありません。
 ※2011年はファンドの設定日から10月末までの騰落率を示しています。
 ※年間収益率は、期間中の基準価額増減および分配金累計(税引前)の合計額を前年末の基準価額で除して算出しています。

・過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ・最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

第2【管理及び運営】

3【資産管理等の概要】

(3) 【信託期間】

[訂正前]

信託期間は、平成23年3月31日から平成33年3月5日までとします。
ただし、投資信託契約の解約（繰上償還）の規定により信託を終了させる場合があります。
また、委託会社は、受益者に有利であると認めるときは、受託会社との協議のうえ、信託期間を延長することができます。

[訂正後]

信託期間は、平成23年3月31日から平成33年3月5日までとします。
ただし、投資信託契約の解約（繰上償還）の規定により信託を終了させる場合があります。
また、受益者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。

(5) 【その他】

[訂正前]

(略)

運用報告書の交付

委託会社は、毎計算期間（原則として、毎年3月6日から翌年3月5日までとします。）終了後および信託終了時に、期中の運用経過等を記載した運用報告書を作成し、知っている受益者に、販売会社を通じて交付します。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

平成23年7月31日より、公告の方法は以下の通りに変更される予定です。

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<http://www.okasan-am.jp>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

(略)

[訂正後]

(略)

運用報告書の交付

委託会社は、毎計算期間（原則として、毎年3月6日から翌年3月5日までとします。）終了後および償還時に、期中の運用経過等を記載した運用報告書を作成し、知っている受益者に、販売会社を通じて交付します。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.okasan-am.jp>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

（略）

第3【ファンドの経理状況】

[訂正前]

ファンドは有価証券届出書提出日現在、資産を有しておりませんので該当事項はありません。

ファンドの投資信託財産に係る財務諸表の作成は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）の定めるところによります。

ファンドの財務諸表の監査は、東陽監査法人により行われ、監査証明を受けます。

[訂正後]

1.当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び同規則第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しています。

2.当ファンド中間財務諸表は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、東陽監査法人により中間監査を受けております。

1【財務諸表】

原届出書「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」につきましては、以下の内容に更新されます。

中間財務諸表
農業・食糧関連オープン
(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期中間計算期間末 (平成23年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	873,986,630
親投資信託受益証券	2,481,270,447
未収入金	300,000,000
未収利息	2,112
流動資産合計	3,655,259,189
資産合計	3,655,259,189
負債の部	
流動負債	
未払解約金	968,866,183
未払受託者報酬	1,533,153
未払委託者報酬	30,663,032
その他未払費用	262,769
流動負債合計	1,001,325,137
負債合計	1,001,325,137
純資産の部	
元本等	
元本	*1 3,294,870,000
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△640,935,948
元本等合計	2,653,934,052
純資産	*3 2,653,934,052
負債純資産合計	3,655,259,189

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第1期中間計算期間 自 平成23年 3 月31日 至 平成23年 9 月30日
営業収益	
受取利息	185,744
有価証券売買等損益	△848,729,553
営業収益合計	△848,543,809
営業費用	
受託者報酬	1,533,153
委託者報酬	30,663,032
その他費用	262,769
営業費用合計	32,458,954
営業利益又は営業損失(△)	△881,002,763
経常利益又は経常損失(△)	△881,002,763
中間純利益又は中間純損失(△)	△881,002,763
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額(△)	△243,990,414
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,568,582
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,568,582
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,492,181
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,492,181
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△640,935,948

(3) [中間注記表]

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別	第1期中間計算期間 自 平成23年3月31日 至 平成23年9月30日
項 目	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第1期中間計算期間末 (平成23年9月30日現在)	
*1. 当該中間計算期間の末日における受益権の総数	3,294,870,000口
2. 投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 640,935,948円
*3. 当該中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たりの純資産額 0.8055円 (10,000口当たりの純資産額 8,055円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第1期中間計算期間 自 平成23年3月31日 至 平成23年9月30日
該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）
金融商品の時価に関する事項

期 別	第1期中間計算期間末 （平成23年9月30日現在）
1. 中間貸借対照表額、時価及び差額	中間貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

（重要な後発事象に関する注記）

第1期中間計算期間 自 平成23年3月31日 至 平成23年9月30日
該当事項はありません。

（その他の注記）

1. 元本の移動

第1期中間計算期間末 （平成23年9月30日現在）	
投資信託財産に係る元本の状況	
設定元本額	3,544,190,000円
期中追加設定元本額	1,130,310,000円
期中一部解約元本額	1,379,630,000円

2. 有価証券関係
該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係
該当事項はありません。

< 参考 >

当ファンドは、「農業・食糧関連株マザーファンド」及び「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」受益証券を、主要投資対象としております。中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、当該マザーファンドの受益証券です。

・農業・食糧関連株マザーファンドの経理状況

なお、マザーファンドの経理状況は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

農業・食糧関連株マザーファンド

[貸借対照表]

（単位：円）

科 目	期 別	注記 番号	平成23年 9 月30日現在
			金 額
資産の部			
流動資産			

コール・ローン		260,919,885
株式		924,052,648
派生商品評価勘定		83,809
未収入金		211,492,001
未収配当金		663,095
未収利息		630
流動資産合計		1,397,212,068
資産合計		1,397,212,068
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		552,432
未払解約金		150,000,000
流動負債合計		150,552,432
負債合計		150,552,432
純資産の部		
元本等		
元本	*1	1,542,602,110
元本		
元本		
剰余金		
欠損金		295,942,474
純資産合計	*3	1,246,659,636
負債・純資産合計		1,397,212,068

[注記表]

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別	自 平成23年3月31日 至 平成23年9月30日
項 目	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価に当たっては、海外の取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場で評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	外国為替予約取引 個別法に基づき、為替予約は、原則として、計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価しております。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算 原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 計算期間の取扱い 当ファンドの計算期間は、農業・食糧関連オープンの中間計算期間に合わせるため、平成23年3月31日から平成23年9月30日までとなっております。
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

平成23年 9 月30日現在	
*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数	1,542,602,110口
2. 投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 295,942,474円
*3. 当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たりの純資産額 0.8082円 (10,000口当たりの純資産額 8,082円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価に関する事項

項目	期別 平成23年 9 月30日現在
1. 貸借対照表額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。その他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	デリバティブ取引の時価に関する契約額等については、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(その他の注記)

1. 元本の移動

(単位：円)

平成23年 9 月30日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	平成23年3月31日
期首元本額	1,700,000,000
期首より平成23年9月30日までの追加設定元本額	455,363,037
期首より平成23年9月30日までの一部解約元本額	612,760,927
期末元本額	1,542,602,110
平成23年9月30日の元本の内訳(＊)	
農業・食糧関連オープン	1,542,602,110

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

2. 有価証券関係

該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

平成23年9月30日現在

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売 建				
	アメリカドル	60,629,862	-	60,630,494	632
	カナダドル	20,420,609	-	20,423,067	2,458
	ユーロ	14,342,276	-	14,343,434	1,158
	スイスフラン	35,649,315	-	35,656,038	6,723
	ノルウェークローネ	6,509,349	-	6,509,743	394
	シンガポールドル	15,038,254	-	14,954,445	83,809
	インドネシアルピア	13,260,046	-	13,801,113	541,067
合計		165,849,711	-	166,318,334	468,623

(注)時価の算定方法

・為替予約取引

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

(1) 計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

(2) 計算期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

・アグリカルチャー・インデックスマザーファンドの経理状況

なお、マザーファンドの経理状況は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

[貸借対照表]

（単位：円）

科目	期別	注記 番号	平成23年 9 月30日現在
			金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン			38,048,304
社債券			2,843,184,000
未収入金			142,980,000
未収利息			6,374,583
前払費用			57,500
流動資産合計			3,030,644,387
資産合計			3,030,644,387
負債の部			
流動負債			
未払解約金			150,000,000
流動負債合計			150,000,000
負債合計			150,000,000
純資産の部			

元本等		
元本		
元本	*1	4,434,971,932
剰余金		
欠損金		1,554,327,545
純資産合計	*3	2,880,644,387
負債・純資産合計		3,030,644,387

[注記表]

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別	自 平成23年3月31日 至 平成23年9月30日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価に当たっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価法によって評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間の取扱い 当ファンドの計算期間は、農業・食糧関連オープンの中間計算期間に合わせるため、平成23年3月31日から平成23年9月30日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

平成23年 9 月30日現在	
*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数	4,434,971,932口
2. 投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 1,554,327,545円
*3. 当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たりの純資産額 0.6495円 (10,000口当たりの純資産額 6,495円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価に関する事項

期 別	平成23年 9 月30日現在
1. 貸借対照表額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。その他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

(その他の注記)

1. 元本の移動

（単位：円）

平成23年 9 月30日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	平成23年3月31日
期首元本額	2,733,851,367
期首より平成23年9月30日までの追加設定元本額	2,909,814,806
期首より平成23年9月30日までの一部解約元本額	1,208,694,241
期末元本額	4,434,971,932
平成23年9月30日の元本の内訳（*）	
コモディティ・セレクション（食糧）	2,534,218,395
農業・食糧関連オープン	1,900,753,537

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

2. 有価証券関係

該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

【純資産額計算書】（平成23年10月31日現在）

資産総額	1,775,545,897	円
負債総額	137,131,357	円
純資産総額（ - ）	1,638,414,540	円
発行済数量	1,965,200,000	口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.8337	円

<参考> アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

[純資産額計算書]

資産総額	2,987,503,230	円
負債総額	818,445,000	円
純資産総額（ - ）	2,169,058,230	円
発行済数量	3,360,962,964	口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.6454	円

<参考> 農業・食糧関連株マザーファンド

[純資産額計算書]

資産総額	886,221,258	円
負債総額	16,424,396	円

純資産総額(-)	869,796,862 円
発行済数量	999,535,229 口
1 単位当たり純資産額(/)	0.8702 円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況」を以下の内容に更新・訂正します。

1【委託会社等の概況】

（平成23年10月末日現在）

（1）資本金の額	10億円
会社が発行する株式の総数	2,600,000株
発行済株式の総数	825,000株
最近5年間における主な資本金の額の増減	なし

（2）委託会社の機構

委託会社の意思決定機構

委託会社は、12名以内で構成される取締役会により運営されます。

取締役は、委託会社の株主であることを要しません。

取締役は、株主総会において株主によって選任され、その任期は選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでとします。

取締役会は、社長1名を選定するほか、会長、副社長、専務取締役、および常務取締役を若干名選任することができます。また、取締役会は取締役の中から代表取締役を若干名選定することができます。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、原則として、社長が招集します。取締役会の議長は、原則として、社長がこれにあたります。

取締役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役の過半数が出席したうえで、出席した取締役の過半数をもって決めます。

運用の意思決定機構

運用委員会は、月1回、運用本部で開催する「ストラテジー会議」で策定された投資環境分析と運用の基本方針案に基づいて検討を行い、運用の基本方針を決定します。

また、運用に関する内規の制定及び改廃のほか、運用ガイドライン等運用のリスク管理に関する事項を決定します。

運用戦略会議は、月1回、ファンドマネージャーより運用委員会で決定された運用の基本方針に基づいた個別ファンドの具体的な投資戦略が報告され、その内容について検討を行います。

ファンドマネージャーは、運用戦略会議で検討された投資戦略に基づき、ファンド毎に具体的な運用計画を策定し、運用計画書・運用実施計画書に基づいて、運用の指図を行います。

投資調査部は、国内外のマクロ経済・セミマクロ経済の調査・分析、市場環境の分析、企業の調査・分析等を行い、ファンドマネージャーに情報提供を行うことで、運用をサポートします。

運用分析会議は、月1回、運用のパフォーマンス向上、運用の適正性の確保、及び運用のリスク管理に資することを目的に、個別ファンドの運用パフォーマンスを分析・検証・評価し、運用本部にフィードバックを行います。

売買分析会議は、月1回、運用財産に係る運用の適切性確保に資することを目的にファンドの有価証券売買状況や組入れ状況など、日々、リスク管理部、トレーディング部が行っている運用の指図に関するチェック状況の報告・指摘を行います。議長は会議の結果を取締役会へ報告します。

2【事業の内容及び営業の概況】

当社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として、その運用（投資運用業）及びその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資一任契約にかかる投資運用業、投資助言・代理業を行っています。

平成23年10月末日現在、当社は、219本の証券投資信託（単位型株式投資信託34本、追加型株式投資信託127本、追加型公社債投資信託16本、親投資信託42本）の運用を行っており、純資産総額は9,784億円（親投資信託を除く。）です。

3【委託会社等の経理状況】

(1) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

前事業年度（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）については、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

(2) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、財務諸表について、東陽監査法人の監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

期 別 科 目	前事業年度 (平成22年3月31日)			当事業年度 (平成23年3月31日)		
	金 額		構成比	金 額		構成比
	千円	千円	%	千円	千円	%
(資産の部)						
流動資産						
現金預金		8,433,767			5,493,082	
有価証券		601,182			3,298,316	
未収委託者報酬		651,706			765,032	
未収運用受託報酬		72,964			22,815	
未収投資助言報酬					5,609	
前払費用		17,863			32,820	
未収収益		921			610	
繰延税金資産		111,436			94,045	
その他の流動資産		5,872			24,042	
流動資産合計		9,895,715	82.6		9,736,376	82.3
固定資産						
有形固定資産 *1		111,037	0.9		105,282	0.9
建物	45,976			44,676		
器具備品	65,060			60,606		
無形固定資産		22,170	0.2		10,238	0.1
ソフトウェア	20,047			8,116		

電話加入権	2,122			2,122		
投資その他の資産		1,951,758	16.3		1,981,532	16.7
投資有価証券	916,169			1,294,320		
親会社株式	826,056			583,968		
長期差入保証金	188,714			160,988		
その他	35,328			29,225		
繰延税金資産				17,540		
貸倒引当金	14,510			14,510		
投資損失引当金				90,000		
固定資産合計		2,084,965	17.4		2,097,053	17.7
資産合計		11,980,680	100.0		11,833,429	100.0

期 別 科 目	前事業年度 (平成22年3月31日)			当事業年度 (平成23年3月31日)		
	金 額	構成比		金 額	構成比	
(負債 の 部)	千円	千円	%	千円	千円	%
流動負債						
預り金		3,740			4,270	
前受運用受託報酬		51				
前受投資助言報酬		2,430			2,430	
未払金		331,184			374,934	
未払収益分配金	166			208		
未払償還金	5,577			3,836		
未払手数料	321,636			366,716		
未払事業所税	3,804			4,173		
未払費用		254,102			246,155	
未払法人税等		335,981			148,219	
未払消費税等		51,454			40,942	
賞与引当金		113,080			115,080	
流動負債合計		1,092,026	9.1		932,033	7.9
固定負債						
退職給付引当金		75,242			87,438	
役員退職慰労引当金		31,640			32,870	
資産除去債務					10,933	
繰延税金負債		165,618				
固定負債合計		272,501	2.2		131,242	1.1
負債合計		1,364,527	11.4		1,063,275	9.0
(純 資 産 の 部)						
株主資本						
資本金		1,000,000	8.4		1,000,000	8.5
資本剰余金		566,500	4.7		566,500	4.8
資本準備金	566,500			566,500		
利益剰余金		8,866,581	74.0		9,173,083	77.5
利益準備金	179,830			179,830		

その他利益剰余金					
別途積立金	5,718,662			5,718,662	
繰越利益剰余金	2,968,089			3,274,591	
株主資本合計		10,433,081	87.1		10,739,583
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		183,071	1.5		30,570
評価・換算差額等合計		183,071	1.5		30,570
純資産合計		10,616,153	88.6		10,770,153
負債純資産合計		11,980,680	100.0		11,833,429

(2) 【損益計算書】

期 別 科 目	前事業年度			当事業年度		
	自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日			自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日		
	金 額		百分比	金 額		百分比
	千円	千円	%	千円	千円	%
営業収益						
委託者報酬		8,470,734	98.8		9,290,792	99.3
運用受託報酬		106,628	1.2		62,807	0.7
営業収益計		8,577,363	100.0		9,353,600	100.0
営業費用						
支払手数料		4,599,088			5,061,926	
広告宣伝費		285,960			190,668	
公告費		4,865			7,416	
受益権管理費		9,546			10,413	
調査費		863,466			1,060,076	
調査費	137,266			162,035		
委託調査費	726,200			898,040		
委託計算費		153,088			186,907	
営業雑経費		323,604			261,180	
通信費	44,807			47,867		
印刷費	269,659			202,785		
協会費	6,780			7,653		
諸会費	2,357			2,873		
営業費用計		6,239,619	72.7		6,778,588	72.5
一般管理費						
給料		953,144			1,058,378	
役員報酬	121,534			117,951		
給料・手当	714,893			840,999		
賞与	116,717			99,428		
交際費		12,140			16,286	
寄付金		17,382			40,819	

旅費交通費		46,184		58,585	
租税公課		19,554		19,373	
不動産賃借料		225,976		214,427	
賞与引当金繰入		113,080		115,080	
退職給付費用		11,939		18,227	
役員退職慰労引当金繰入		5,140		4,720	
固定資産減価償却費		42,456		40,490	
諸経費		308,341		333,694	
一般管理費計		1,755,341	20.5	1,920,083	20.5
営業利益		582,402	6.8	654,927	7.0

期 別 科 目	前事業年度			当事業年度		
	自 平成 21年 4月 1 日 至 平成 22年 3月 31 日			自 平成 22年 4月 1 日 至 平成 23年 3月 31 日		
	金 額		百分比	金 額		百分比
	千円	千円	%	千円	千円	%
営業外収益						
受取配当金 *1		22,585		24,837		
有価証券利息		12,258		9,996		
受取利息		1,120		1,538		
約款時効収入		16,564		1,762		
未払費用戻入益		19,676				
雑益		23,573		3,593		
営業外収益計		95,778	1.1	41,728		0.4
営業外費用						
時効後返還金		3,068		36		
信託財産負担金		14,728		718		
雑損		686		34		
固定資産除却損 *2				460		
営業外費用計		18,482	0.2	1,249		0.0
経常利益		659,698	7.7	695,406		7.4
特別利益						
投資有価証券売却益		67,891		2,416		
その他		9,561				
特別利益計		77,452	0.9	2,416		0.0
特別損失						
投資有価証券売却損		54,530		1,756		
資産除去債務				2,135		
投資有価証券評価損				8,385		
ゴルフ会員権評価損				6,103		
投資損失引当金繰入				90,000		

その他		4,358							
特別損失計		58,888	0.7			108,380	1.1		
税引前当期純利益		678,262	7.9			589,441	6.3		
法人税、住民税及び事業税	336,861					309,731			
法人税等調整額	49,386	287,475	3.3		59,792	249,939	2.7		
当期純利益		390,787	4.6			339,501	3.6		

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金	利益剰余 金合計					
平成21年3月31日残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	2,610,302	8,508,794	10,075,294	63,395	63,395	10,138,689
当期変動額											
剰余金の配当						33,000	33,000	33,000			33,000
当期純利益						390,787	390,787	390,787			390,787
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）									119,676	119,676	119,676
当期変動額合計						357,787	357,787	357,787	119,676	119,676	477,463
平成22年3月31日残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	2,968,089	8,866,581	10,433,081	183,071	183,071	10,616,153

当事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金	利益剰余 金合計					
平成22年3月31日残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	2,968,089	8,866,581	10,433,081	183,071	183,071	10,616,153
当期変動額											
剰余金の配当						33,000	33,000	33,000			33,000
当期純利益						339,501	339,501	339,501			339,501
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）									152,501	152,501	152,501
当期変動額合計						306,501	306,501	306,501	152,501	152,501	154,000
平成23年3月31日残高	1,000,000	566,500	566,500	179,830	5,718,662	3,274,591	9,173,083	10,739,583	30,570	30,570	10,770,153

（重要な会計方針）

期 別 項 目	前事業年度		当事業年度	
	自 平成 21年 4月 1 日 至 平成 22年 3月 31 日		自 平成 22年 4月 1 日 至 平成 23年 3月 31 日	

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券</p> <p>時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）</p> <p>時価のないもの 総平均法による原価法</p>	<p>その他有価証券</p> <p>時価のあるもの 同 左</p> <p>時価のないもの 同 左</p>								
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりです。</p> <table data-bbox="606 660 925 750"> <tr> <td>建 物</td> <td>18年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～5年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。</p> <p>なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3～5年）に基づき償却しております。</p>	建 物	18年	器具備品	4～5年	<p>(1) 有形固定資産 同 左 なお、主な耐用年数は以下のとおりです。</p> <table data-bbox="1077 660 1396 750"> <tr> <td>建 物</td> <td>15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～6年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産 同 左</p>	建 物	15年	器具備品	4～6年
建 物	18年									
器具備品	4～5年									
建 物	15年									
器具備品	4～6年									
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同 左</p>								

4. その他財務諸表作成のための重要な事項	<p>(2)</p> <p>(3) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見積額に基づき、計上しております。 なお、退職給付債務の見積額は、簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算しております。</p> <p>(5) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社内規に基づく期末要支給見積額を計上しております。 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p>	<p>(2) 投資損失引当金 投資先会社への投資に係る損失に備えるため投資先の財政状態等を勘案して、投資有価証券について必要額を計上しております。 (追加情報) 実質価額が低下したものの回復可能性が見込めると判断した投資有価証券について、将来の予測に不確実な要因があるため、財務健全性の観点から投資損失引当金を計上することにしたものであります。なお、当事業年度において、投資損失引当金繰入額90,000千円を特別損失に計上しております。</p> <p>(3) 賞与引当金 同 左</p> <p>(4) 退職給付引当金 同 左</p> <p>(5) 役員退職慰労引当金 同 左</p> <p>同 左</p>
-----------------------	--	--

(財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

前事業年度	当事業年度
自 平成 21年 4月 1日	自 平成 22年 4月 1日
至 平成 22年 3月 31日	至 平成 23年 3月 31日

	<p>資産除去債務に関する会計基準等の適用</p> <p>当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これにより、当事業年度の営業利益及び経常利益は937千円、税引前当期純利益は3,073千円それぞれ減少しております。</p>
--	--

(表示方法の変更)

前事業年度 自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	当事業年度 自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日
<p>前期まで流動資産の「未収収益」に含めて表示しておりました運用受託報酬に係る未収収益及び流動負債の「前受収益」に含めて表示しておりました運用受託報酬に係る前受収益は金額的重要性が増したため「未収運用受託報酬」及び「前受運用受託報酬」、「前受投資助言報酬」として区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度の流動資産の「未収収益」に含めて表示しておりました運用受託報酬に係る未収収益は16,333千円であり、流動負債の「前受収益」に含めて表示しておりました運用受託報酬に係る前受収益は66千円であり、前受投資助言報酬の残高はありません。</p>	<p>前期まで営業外費用の「雑損」に含めて表示しておりました固定資産除却損は金額的重要性が増したため「固定資産除却損」として区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度の営業外費用の「雑損」に含めて表示しておりました固定資産除却損は654千円です。</p>

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成22年 3月31日)	当事業年度 (平成23年 3月31日)								
*1. 有形固定資産の減価償却累計額	*1. 有形固定資産の減価償却累計額								
<table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>25,922 千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>95,992 千円</td> </tr> </table>	建物	25,922 千円	器具備品	95,992 千円	<table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>35,776 千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>108,802 千円</td> </tr> </table>	建物	35,776 千円	器具備品	108,802 千円
建物	25,922 千円								
器具備品	95,992 千円								
建物	35,776 千円								
器具備品	108,802 千円								

(損益計算書関係)

前事業年度 自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	当事業年度 自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日				
*1. 関係会社との取引高	*1. 関係会社との取引高				
<table border="0"> <tr> <td>受取配当金</td> <td>9,240 千円</td> </tr> </table>	受取配当金	9,240 千円	<table border="0"> <tr> <td>受取配当金</td> <td>21,965 千円</td> </tr> </table>	受取配当金	21,965 千円
受取配当金	9,240 千円				
受取配当金	21,965 千円				
*2. 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。	*2. 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。				

器具備品	654千円	器具備品	460千円
------	-------	------	-------

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(1) 発行済株式の種類及び総数

前事業年度	普通株式	825,000株
当事業年度	普通株式	825,000株

(2) 配当に関する事項

配当金支払額

平成21年6月24日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	33,000千円
1株当たり配当額	40円
基準日	平成21年3月31日
効力発生日	平成21年6月25日

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成22年6月25日開催の定時株主総会において、普通株式の配当に関する事項を次のとおり
決議しております。

配当金の総額	33,000千円
1株当たり配当額	40円
基準日	平成22年3月31日
効力発生日	平成22年6月26日
配当の原資	利益剰余金

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(1) 発行済株式の種類及び総数

前事業年度	普通株式	825,000株
当事業年度	普通株式	825,000株

(2) 配当に関する事項

配当金支払額

平成22年6月25日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	33,000千円
1株当たり配当額	40円
基準日	平成22年3月31日
効力発生日	平成22年6月26日

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成23年6月27日開催の定時株主総会において、普通株式の配当に関する事項を次のとおり
決議しております。

配当金の総額	33,000千円
1株当たり配当額	40円

基準日	平成23年3月31日
効力発生日	平成23年6月28日
配当の原資	利益剰余金

(リース取引関係)

前事業年度 自 平成 21年 4月 1 日 至 平成 22年 3月 31 日	当事業年度 自 平成 22年 4月 1 日 至 平成 23年 3月 31 日																																								
<p>所有権移転外ファイナンス・リース取引</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次の通りであります。</p> <p>借主側</p> <p>(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額 相当額</th> <th style="text-align: center;">減価償却 累計額 相当額</th> <th style="text-align: center;">期末残高 相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">器具備品</td> <td style="text-align: center;">千円 467</td> <td style="text-align: center;">千円 430</td> <td style="text-align: center;">千円 36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 未経過リース料期末残高相当額</p> <table> <tr> <td style="text-align: center;">1年以内</td> <td style="text-align: center;">39千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1年超</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">39千円</td> </tr> </table> <p>(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table> <tr> <td style="text-align: center;">支払リース料</td> <td style="text-align: center;">286千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">減価償却費相当額</td> <td style="text-align: center;">261千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支払利息相当額</td> <td style="text-align: center;">6千円</td> </tr> </table> <p>(4) 減価償却費相当額の算定方法</p> <p>リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>(5) 利息相当額の算定方法</p> <p>リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>		取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額	器具備品	千円 467	千円 430	千円 36	1年以内	39千円	1年超	千円	合計	39千円	支払リース料	286千円	減価償却費相当額	261千円	支払利息相当額	6千円	<p style="text-align: center;">同 左</p> <p>(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額 相当額</th> <th style="text-align: center;">減価償却 累計額 相当額</th> <th style="text-align: center;">期末残高 相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">器具備品</td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 未経過リース料期末残高相当額</p> <table> <tr> <td style="text-align: center;">1年以内</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1年超</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </table> <p>(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table> <tr> <td style="text-align: center;">支払リース料</td> <td style="text-align: center;">40千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">減価償却費相当額</td> <td style="text-align: center;">36千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支払利息相当額</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> </tr> </table> <p>(4) 減価償却費相当額の算定方法</p> <p style="text-align: center;">同 左</p> <p>(5) 利息相当額の算定方法</p> <p style="text-align: center;">同 左</p>		取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額	器具備品	千円	千円	千円	1年以内	千円	1年超	千円	合計	千円	支払リース料	40千円	減価償却費相当額	36千円	支払利息相当額	0千円
	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額																																						
器具備品	千円 467	千円 430	千円 36																																						
1年以内	39千円																																								
1年超	千円																																								
合計	39千円																																								
支払リース料	286千円																																								
減価償却費相当額	261千円																																								
支払利息相当額	6千円																																								
	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額																																						
器具備品	千円	千円	千円																																						
1年以内	千円																																								
1年超	千円																																								
合計	千円																																								
支払リース料	40千円																																								
減価償却費相当額	36千円																																								
支払利息相当額	0千円																																								

<p>(6) 減損損失について</p> <p>リース資産に配分された減損損失はないため、項目等の記載は省略しております。</p>	<p>(6) 減損損失について</p> <p>同 左</p>
--	--------------------------------

(金融商品関係)

前事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、金融商品取引法に定める投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業を営んでおります。これらの事業を当社では、自己資金で行っております。

一方、資金運用については、短期的な預金及び債券、投資有価証券での運用を行っております。なお、デリバティブ取引は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当社が保有する主な金融資産は現金預金、有価証券、未収委託者報酬、投資有価証券及び親会社株式であります。

預金は預入先金融機関の信用リスクに晒されております。また有価証券、投資有価証券及び親会社株式は発行体の信用リスクやマーケットリスク等に晒されております。また、未収委託者報酬は投資信託財産中から当社（委託者）が得られる報酬であり、未収であるものであります。

金融負債の主なものは、未払金（未払手数料）、未払法人税等であります。未払金（未払手数料）は委託者報酬中から当社が販売会社に支払うべき手数料であり、未払いのものであります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は経営の健全化及び経営資源の効率化を目的として、リスク管理体制の強化を図り、適切なリスク・コントロールに努めております。金融資産に関わる信用リスク、マーケットリスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金預金	8,433,767	8,433,767	
(2)有価証券	601,182	601,182	
(3)未収委託者報酬	651,706	651,706	
(4)投資有価証券	214,208	214,208	
(5)親会社株式	826,056	826,026	
(6)未払金（未払手数料）	321,636	321,636	
(7)未払法人税等	335,981	335,981	

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金預金、(3) 未収委託者報酬、(6) 未払金（未払手数料）、(7) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券、(5) 親会社株式

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等、投資信託は公表されている基準価額等によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照下さい。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式(701,961千円)は市場価額がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金預金	8,433,767			
未収委託者報酬	651,706			
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの その他	601,182	98,830		
合計	9,686,656	98,830		

(追加情報)

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しております。

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、金融商品取引法に定める投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業を営んでおります。これらの事業を当社では、自己資金で行っております。

一方、資金運用については、短期的な預金及び債券、投資有価証券での運用を行っております。なお、デリバティブ取引は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当社が保有する主な金融資産は現金預金、有価証券、未収委託者報酬、投資有価証券及び親会社株式であります。

預金は預入先金融機関の信用リスクに晒されております。また有価証券、投資有価証券及び親会社株式は発行体の信用リスクやマーケットリスク等に晒されております。また、未収委託者報酬は投資信託財産中から当社(委託者)が得られる報酬であり、未収であるものであります。

金融負債の主なものは、未払金(未払手数料)、未払法人税等であります。未払金(未払手数料)は委託者報酬中から当社が販売会社に支払うべき手数料であり、未払いのものであります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は経営の健全化及び経営資源の効率化を目的として、リスク管理体制の強化を図り、適切なリスク・コントロールに努めております。金融資産に関わる信用リスク、マーケット

リスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金預金	5,493,082	5,493,082	
(2)有価証券	3,298,316	3,298,316	
(3)未収委託者報酬	765,032	765,032	
(4)投資有価証券	592,359	592,359	
(5)親会社株式	583,968	583,968	
(6)未払金（未払手数料）	366,716	366,716	
(7)未払法人税等	148,219	148,219	

（注1）金融商品の時価の算定方法

（1）現金預金、（3）未収委託者報酬、（6）未払金（未払手数料）、（7）未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（2）有価証券、（4）投資有価証券、（5）親会社株式

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等、投資信託は公表されている基準価額等によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照下さい。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（701,961千円）は市場価額がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「（4）投資有価証券」には含めておりません。

（注3）金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金預金	5,493,082			
未収委託者報酬	765,032			
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの その他	3,298,316	399,387	3,172	
合計	9,556,432	399,387	3,172	

（有価証券関係）

前事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

1. その他有価証券

（単位：千円）

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの	(1) 株式	920,162	605,961	314,200
	(2) 債券			
	国債・地方債等			
	社債	300,948	299,961	986
	その他	300,234	299,335	898
	(3) その他	7,687	4,836	2,850
	小計	1,529,031	1,210,095	318,935
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの	(1) 株式	13,585	21,060	7,475
	(2) 債券			
	国債・地方債等			
	社債			
	その他			
	(3) その他	98,830	100,000	1,170
	小計	112,415	121,060	8,645
	合計	1,641,446	1,331,155	310,290

(注) 非上場株式（貸借対照表計上額 701,961千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券

	種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
	(1) 株式			
	(2) 債券			
	国債・地方債等			
	社債			
	その他			
	(3) その他	269,681	67,891	54,530
	合計	269,681	67,891	54,530

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

1. その他有価証券

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの	(1) 株式	658,896	605,961	52,934

	(2) 債券			
	国債・地方債等	1,798,914	1,798,804	109
	社債			
	その他			
	(3) その他	312,454	305,229	7,224
	小計	2,770,265	2,709,995	60,269
貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの	(1) 株式	12,350	12,350	0
	(2) 債券			
	国債・地方債等	1,499,402	1,499,484	82
	社債			
	その他			
	(3) その他	192,627	201,000	8,372
	小計	1,704,379	1,712,834	8,455
	合計	4,474,644	4,422,830	51,813

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 701,961千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券

		(単位：千円)		
種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額	
(1) 株式				
(2) 債券				
国債・地方債等				
社債				
その他				
(3) その他	104,550	2,416	1,756	
合計	104,550	2,416	1,756	

(デリバティブ取引関係)

前事業年度(平成22年3月31日)

当社は、デリバティブ取引を利用していないため該当事項はありません。

当事業年度(平成23年3月31日)

当社は、デリバティブ取引を利用していないため該当事項はありません。

(退職給付関係)

前事業年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。また、岡三証券株式会社を運営管理機関とする証券総合型確定拠出年金制度に加入しております。

2. 退職給付債務に関する事項

退職給付引当金	75,242	千円
---------	--------	----

3. 退職給付費用に関する事項

勤務費用	7,020	千円
確定拠出年金への掛金拠出額	<u>4,919</u>	千円
退職給付費用	11,939	千円

4. 退職給付債務の計算基礎に関する事項

当社は簡便法を採用しております。

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。また、岡三証券株式会社を運営管理機関とする証券総合型確定拠出年金制度に加入しております。

2. 退職給付債務に関する事項

退職給付引当金	87,438	千円
---------	--------	----

3. 退職給付費用に関する事項

勤務費用	12,195	千円
確定拠出年金への掛金拠出額	<u>6,031</u>	千円
退職給付費用	18,227	千円

4. 退職給付債務の計算基礎に関する事項

当社は簡便法を採用しております。

(税効果会計関係)

前事業年度		当事業年度	
自 平成 21年 4月 1 日		自 平成 22年 4月 1 日	
至 平成 22年 3月 31 日		至 平成 23年 3月 31 日	
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳	
賞与引当金	46,362 千円	賞与引当金	47,182 千円
退職給付引当金	30,849 千円	退職給付引当金	35,849 千円
役員退職慰労引当金	12,972 千円	役員退職慰労引当金	13,476 千円
ゴルフ会員権評価損	1,230 千円	ゴルフ会員権評価損	3,732 千円
貸倒引当金	5,949 千円	貸倒引当金	5,949 千円

その他有価証券評価差額金	3,544 千円	その他有価証券評価差額金	3,466 千円
投資有価証券評価損	2,977 千円	投資有価証券評価損	3,467 千円
未払広告宣伝費	30,524 千円	未払広告宣伝費	11,910 千円
その他	35,747 千円	投資損失引当金	36,900 千円
繰延税金資産の合計	170,154 千円	資産除去債務	4,482 千円
		その他	35,483 千円
繰延税金負債		繰延税金資産の合計	201,900 千円
負ののれん償却額	93,572 千円		
その他有価証券評価差額金	130,763 千円	繰延税金負債	
繰延税金負債の合計	224,336 千円	負ののれん償却額	62,381千円
繰延税金負債の純額	54,181 千円	その他有価証券評価差額金	24,710 千円
		その他	3,222 千円
		繰延税金負債の合計	90,315 千円
		繰延税金資産の純額	111,585千円
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異は法定実効税率の100分の5以下であるため、注記を省略しています。		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異は法定実効税率の100分の5以下であるため、注記を省略しています。	

(資産除去債務関係)

当事業年度末（平成23年3月31日）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本店の建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から31年と見積り、割引率は2.290%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

当事業年度における資産除去債務の残高の推移は次のとおりであります。

前事業年度末残高（注）	10,689千円
時の経過による調整額	244千円
当事業年度末残高	10,933千円

(注)当事業年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用したことによる期首時点における残高であります。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は「投資信託部門」及び「投資顧問部門」ごとに、経営戦略を立案・決定し、経営資源の配分及び業績の評価を行っております。

なお、「投資顧問部門」のセグメントの売上高、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満でありますので、報告セグメントは「投資信託部門」のみであります。

報告セグメントである「投資信託部門」では投資信託の運用、商品開発等を行っております。

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(4) 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前事業年度(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

2. 関連情報

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

（追加情報）

当事業年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（関連当事者情報）

前事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金（千円）	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
同一の親会社を持つ会社	岡三証券株式会社	東京都中央区	5,000,000	証券業	被所有直接2.30%	当社ファンドの募集取扱役員の出向4名	支払手数料の支払（注2）	3,569,410	未払手数料	211,903

（注） 1. 上記の取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金（千円）	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
同一の親会社を持つ会社	岡三証券株式会社	東京都中央区	5,000,000	証券業	被所有直接2.30%	当社ファンドの募集取扱役員の出向3名	支払手数料の支払（注2）	3,667,811	未払手数料	257,814

（注） 1. 上記の取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

（1株当たり情報）

前事業年度		当事業年度	
自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日		自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日	
1株当たり純資産額	12,868円06銭	1株当たり純資産額	13,054円73銭
1株当たり当期純利益金額	473円68銭	1株当たり当期純利益金額	411円51銭
1. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。		1. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度	当事業年度
	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
当期純利益（千円）	390,787	339,501
普通株主に帰属しない金額（千円） （うち利益処分による役員賞与金（千円））		
普通株式に係る当期純利益（千円）	390,787	339,501
普通株式の期中平均株式数（株）	825,000	825,000

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度	当事業年度
	（平成22年3月31日）	（平成23年3月31日）
純資産の部の合計額（千円）	10,616,153	10,770,153
純資産の部から控除する合計額（千円）		
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	10,616,153	10,770,153
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	825,000	825,000

（重要な後発事象）

前事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）
該当事項はありません。

当事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）
該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）、

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）、

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該

当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1) 定款の変更等

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

委託会社は、事業の全部又は一部を譲渡することがあります。

委託会社は、分割により事業の全部又は一部を承継させることがあります。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

[訂正前]

(1) 「受託会社」

住友信託銀行株式会社

資本金の額

平成22年9月末日現在、342,037百万円

(略)

(2) 「販売会社」

名称	資本金の額(百万円) <u>平成22年9月末日現在</u>	事業の内容
岡三証券株式会社	5,000	「金融商品取引法」に定める 第一種金融商品取引業を営んで います。
三縁証券株式会社	150	
静岡東海証券株式会社	600	
大山日ノ丸証券株式会社	215	
高木証券株式会社	11,069	

[訂正後]

(1) 「受託会社」

住友信託銀行株式会社

資本金の額

平成23年3月末日現在、342,037百万円

但し、関係当局の認可等を前提に、平成24年4月1日付で中央三井信託銀行株式会社および中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、三井住友信託銀行株式会社に商号を変更する予定です。

(略)

(2) 「販売会社」

名称	資本金の額（百万円） 平成23年3月末日現在	事業の内容
岡三証券株式会社	5,000	「金融商品取引法」に定める 第一種金融商品取引業を営ん でいます。
三縁証券株式会社	150	
静岡東海証券株式会社	600	
大山日ノ丸証券株式会社	215	
高木証券株式会社	11,069	

独立監査人の中間監査報告書

平成23年11月2日

岡三アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員 公認会計士 鈴木基仁 印
業務執行社員指定社員 公認会計士 助川正文 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「農業・食糧関連オープン」の平成23年3月31日から平成23年9月30日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「農業・食糧関連オープン」の平成23年9月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成23年3月31日から平成23年9月30日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

岡三アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[委託会社の監査報告書（当期）へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成23年6月27日

岡三アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 助川 正文

指定社員 業務執行社員 公認会計士 宝金 正典

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている岡三アセットマネジメント株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第47期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、岡三アセットマネジメント株式会社の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

平成22年6月25日

岡三アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員業務執行社員 公認会計士 宮野定夫

指定社員業務執行社員 公認会計士 助川正文

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている岡三アセットマネジメント株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第46期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、岡三アセットマネジメント株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1.上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。